



平成 30 年 2 月 2 日

各 位

上場会社名 株式会社ビーアールホールディングス
代表者 代表取締役社長 藤田 公康
(コード番号 1726)
問合せ責任者 取締役管理本部長 山縣 修
(TEL 082-261-2860)

業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 11 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	27,500	1,500	1,450	900	23.13
今回修正予想 (B)	24,500	1,600	1,550	950	24.43
増減額 (B-A)	△3,000	100	100	50	
増減率 (%)	△10.9	6.7	6.9	5.6	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	24,366	1,372	1,328	899	24.84

(注) 当社は、平成 28 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。前期実績（平成 29 年 3 月期）の 1 株当たり当期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して算定しております。

修正の理由

連結業績につきましては、建設事業において、北陸新幹線、長崎新幹線、リニア中央新幹線等の大規模プロジェクトの受注により、当第 3 四半期連結累計期間の受注高は対前年比 45.6%と大幅に増加しております。しかしながら、手持工事全般の大型化により工事の進捗率が伸びず、通期の売上高は 24,500 百万円と当初予想を下回る見込みとなりました。一方、期首手持工事の設計変更等による粗利率の向上及び不採算工事の減少等により、営業利益が 1,600 百万円、経常利益が 1,550 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が 950 百万円とそれぞれ当初予想額を上回る見込みとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

●配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成29年5月11日発表)	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
				2.50	5.00
今回修正予想				3.00	5.50
当期実績	—	2.50	—		
前期実績 (平成29年3月期)	—	3.00	—	2.00	—

(注)当社は、平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前期実績(平成29年3月期)の第2四半期末については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

修正の理由

平成30年3月期の連結業績予想の修正を踏まえ、1株当たりの期末配当金を50銭増額の3円とし、年間配当金を5円50銭といたします。なお、平成29年3月期の年間配当金を株式分割後に換算すると、3円50銭となり、前期から2円の増配となります。

以 上